

広報
Kouhou Wakasa

わかさ

2024
2月号
No.226



[特集] 02

新春特別企画「町長インタビュー」

- 04 ドキ!DOKI! 情報局
- 06 地域医療について
- 08 情報BOX



聞き手

フリーアナウンサー
土井 梨津子

若狭町長
渡辺 英朗

今回は、渡辺町長への「新春インタビュー企画」として、様々な動きのあった昨年の振り返りや、新幹線開業を迎える今年の抱負、未来の若狭町の目指す形など熱い想いを皆さまにお伝えします。

令和5年を振り返って

土井：町長、あけましておめでとうございます。

渡辺：あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を迎えるのことに、心よりお喜びを申し上げます。令和6年も、明るく元気なまちづくりを推進できますよう、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

土井：令和5年を振り返って、どのような1年でしたか。

渡辺：まず、新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種については、町民の皆さまのご理解のもと順調に進めることができました。併せて、地域経済の活性化、集落や地域のイベント再開に向けた支援も行わせていただきました。

また、世界情勢の影響による物価の高騰については、福祉・介護施設への電気代や食糧費への補助、農業者への肥料価格に対する補助を実施させていただきました。住民の皆さまの生活支援についても、1人あたり1万円分の「わかさハッピー商品券」を年末に配付させていただきました。1月31日までが使用期限となっておりますので、ぜひともご活用いただけると幸いです。



北陸新幹線の開業に向けて

土井：今年いよいよ、北陸新幹線県内開業の年となりますね。

渡辺：いよいよ、3月16日、北陸新幹線が敦賀まで開業します。これまでの間、嶺南地域が連携しながら観光地や二次交通の整備に力を入れてきました。開業によって首都圏との距離が縮まり、全国各地から多くの方々若狭町に訪れていただけるものと期待しています。

土井：具体的にはどのように取り組んでこられましたか。

渡辺：既にレインボーライン山頂公園のリニューアルは完成しており、国内外から多くの観光客が訪れています。

熊川宿についても歴史的な景観を評価いただき、全国から注目が集まっています。そして、昨年10月には複合アウトドア施設「山座熊川（さんざくまがわ）」がオープンしました。山や森に囲まれ、設備の整った最適な空間でアウトドアを楽しんでいただき、明神湖を活用したカヌーやサップ体験なども充実しています。

また、町内の民宿リニューアルやナショナルサイクルルートの選定に向けたサイクリングルートの整備など、観光地の磨き上げを進めてまいりました。新幹線開業を機に若狭町の魅力を感じ取っていただけるよう、官民一体となった連携をさらに強めてまいります。





SDGsの取り組みについて

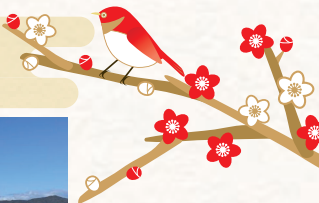
土井：町政を進めるにあたって、「SDGs」に力を入れておられますね。

渡辺：昨年の4月から第2次若狭町総合計画（中期基本計画）がスタートしており、この推進にあたっては「SDGs」が大切なキーワードとなります。地域づくり協議会と連動した「若狭町SDGs地域づくり交付金」や小中学生の「SDGs探求学習推進事業」などを活用し、SDGsの取り組みを推進しています。

最も大切なことは、みんなで力を合わせて町づくりを進めるということです。17項目の課題解決に取り組むことによって、若狭町が1つになれるのではないかと考えています。

土井：なるほど、誰1人取り残さないということでしょうか。

渡辺：そうですね。現在、燃料や食品価格の高騰が続いていますが、戦争や気候変動などが要因となっており、SDGsは地球規模で取り組むべき重要なテーマとなっています。令和6年においても、町全体にさらなる浸透を図ってきたいと考えています。



未来のまちづくりについて

土井：未来のまちづくりについて力を入れていきたいことは、どんなことでしょうか。

渡辺：まず、子育て支援については、「こども誰でも通園制度」モデル事業の実施など、若狭町で安心して子育てができる環境の充実を図っています。子どもの遊び場整備についても、パレア若狭のキッズルームの増改築を行い、子どもたちが天候を気にせず、伸び伸びと遊べる環境を整えていきます。

また、DXの推進に力を入れています。現在、上中駅周辺においてスマートエリアの整備を進めており、デジタルや省エネ技術を導入した便利な暮らしを実現することで、若い世代の方々の移住・定住促進につながることを期待しています。

さらに、町全域の防災の備えとして、ケーブルテレビ網を活用した屋外スピーカーの設置を順次進めさせていただきます。

土井：新しい技術を取り入れながら、町民の皆さまが安心して暮らせる、また、安心して子育てができるまちづくりを目指しているということでしょうか。

渡辺：人口が減少傾向にある中、なんとか歯止めをかけることが急務であると考えています。そのうえで、デジタル技術の利便性を生活に取り入れた豊かなまちづくりを進め、集落や地域コミュニティによる人の繋がりが維持され、活性化が図られるよう、積極的に支援を行っていききたいと考えています。



今年の抱負

土井：今年の抱負を教えてください。

渡辺：漢字1字に想いを込め、「幸（しあわせ・さち）」を今年の抱負としました。若狭町第2次総合計画（中期基本計画）の中で目標に掲げているのが「将来も住み続けられ、心豊かで幸せな暮らしの実現」です。福井県は「幸福度日本一」の県であり、そのことから「幸」という漢字を今年の抱負としました。

今、生活が不安定な状況ですが、昨年末には「わかさハッピー商品券」を配付させていただきました。生活や地域経済への支援や交流促進による生きがいの創出を通して、物心両面での豊かさや幸福を実感していただける一年にしたいと思います。

土井：今年は、町制20周年の記念の年ですが。

渡辺：令和6年度は、若狭町が誕生して20周年の節目の年度となります。これまでの歴史を刻んでこられた皆さま方に感謝するとともに、新しい時代の若狭町を町民の皆さまと一緒に形作っていききたいと思います。

コロナ禍が明け、町内でもさまざまなイベントを再開しており、これらのイベントにも20周年の要素を加え、若狭町を全国に力強く発信していきます。

土井：最後に町民の皆さまに一言、メッセージをお願いします。

渡辺：いよいよ、北陸新幹線が敦賀まで開業します。この「時代の転換点」に、町民の皆さま方も大きな期待を寄せておられると思います。町としても地域と連携したまちづくりを着実に前に進めるとともに、基本となる、町民の皆さまの生活や健康を守ることも大切にまいります。令和6年も町長として全力で職務にあたってまいりますので、何卒よろしくお祈り申し上げます。



※この記事は令和5年12月13日に行ったインタビューの内容を記載しております。

Tomorrow 明日はしあわせ ～ミュージカルアニーより～



■オーディションで選ばれた歌や踊りが大好きな皆さんが、半年以上のレッスンを重ねて、ミュージカルアニーのオリジナル作品を演じます。

開催日／ **3月2日(土)**

1回目／開演 14:00 開場 13:30 ※完売しました

2回目／開演 18:00 開場 17:30

会場／パレア若狭音楽ホール

チケット料金／一般 1,000円 高校生以下 500円

※全席指定・3歳以下入場不可

Web サイトからチケットの購入ができます▶



案内 パレア文化課 Tel: 0770-62-2508

iroriコンサート



■二胡・マリンバ・ハープによる不思議な組合せ irori のコンサートを開催します。

第二部では、iroriの音楽に合わせて、3月に行われるミュージカルの出演者やゲストによるミニコンサートもあります。楽しいハーモニーをぜひお聞きください。

開催日／ **2月3日(土)**

開演／15:00 開場／14:30

会場／パレア若狭音楽ホール

開催内容／第一部 iroriコンサート

第二部 パレア若狭ミュージカルミニコンサート

チケット料金／大人 1,000円 高校生以下 500円

※全席指定・3歳以下入場不可

Web サイトからチケットの購入ができます▶



案内 パレア文化課 Tel: 0770-62-2508

オーケストラ・アンサンブル金沢弦楽四重奏ミニコンサート

■オーケストラ・アンサンブル金沢弦楽四重奏によるクラシック音楽の曲や楽器などの解説付きのミニコンサートを開催します。クラシック音楽初心者の方にもお楽しみいただける内容となっております。ぜひお越しください。

開催日／ **2月24日(土)**

開演／14:00 開場／13:30

会場／パレア若狭ホワイエ

チケット料金／無料(事前申込が必要です)

Web フォームからお申込みいただけます▶

※全席自由・3歳以下入場不可

詳細は裏表紙をご覧ください。



案内 パレア文化課 Tel: 0770-62-2508

第8回「家族のきずな」エッセイ表彰式

■嶺南各市町の小学生より応募のあった中から優秀作品の表彰と発表をしていただきます。子どもたちの感動あふれる思いを聞いてください。

開催日／ **2月4日(日)**

表彰式／14:00～ 開場／13:30 会場／パレア若狭音楽ホール



案内 福井県モラロジー協議会 嶺南連絡会 Tel: 0770-52-1540

てつがくカフェ かんがえるじかん vol.4 「正しいって何だろう？」

■てつがくカフェは「考える」練習場です。あれ？なんでだろう？と思うことをテーマにして、みんなで一緒に考えていきます。誰かと一緒に考えることや日常のコミュニケーションがより楽しくなるはず。今回のテーマは「正しいって何だろう？」です。

開催日／**2月11日（日）**

時間／13：15～16：15

会場／パレア若狭 研修室

参加費／500円

進行／西村高宏氏（福井大学医学部准教授）
グラフィック／近田真美子氏（福井医療大学教授）

じ え か
か ● ん
ん る が

KANGAERUJIKAN



▲Web フォームからお申込みいただけます。

にじいろのおはなし会

■図書館リブラ館こどもひろばにて、毎月第4土曜日午前11時に紙芝居をします。参加無料で、赤ちゃんから参加できます。



開催日／**2月24日（土）**

時間／11：00～

場所／図書館リブラ館 こどもひろば

内容／ボランティア「にじの会」による紙芝居

料金／無料

図書館からのオススメ本

『考古学者が発掘調査をしていたら、怖い目にあつた話』
大城 道則、芝田 幸一郎、角道 亮介（著）

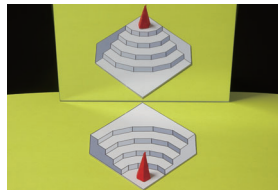
ロマンだけでは食べていけないが、ロマンのない考古学なんてつまらない。墓石に閉じ込められたり、原因不明の病にかかったり、人骨と過ごしたり……発掘調査は命がけ！

前代未聞、考古学者たちのノンフィクションエッセイ。



トリックアート展

■子どもから大人まで楽しめる、目の錯覚を利用した不思議なトリックアートを展示します。トリックアートならではの不思議と驚きを体感しに、ぜひパレア若狭ギャラリーまでお越しください。



開催日／**2月23日（金・祝）～3月10日（日）**

時間／9：00～20：00

※火曜日休館

会場／パレア若狭 ギャラリー

案内

パレア文化課 Tel：0770-62-2508

令和5年度人権作品（ポスター・作文）入賞作品展示会

第26回「小学生人権ポスターコンテスト」・第42回「全国中学生人権作文コンテスト福井大会」

■“人権尊重”をテーマに描かれた町内児童生徒および県内入賞・優秀作品の数々をどうぞご覧ください。

開催日／**2月15日（木）～2月21日（水）** ※火曜日休館

時間／9：00～20：00 ※最終日は15：00まで

会場／パレア若狭 ギャラリー

案内

人権擁護委員 岡本 Tel:0770-64-1707

年間使用登録団体募集中！

Parea パレア若狭

■パレア若狭内の趣味の部屋（「音楽スタジオ」「創作スタジオ」「リハーサル室」）を、3人以上のサークル・団体で利用される場合、団体登録すれば、年間30,000円で週2回を限度に1年間利用できます。音楽スタジオをカラオケ利用しない場合（楽器の練習等）年間18,000円で利用できます。合唱やカラオケ、陶芸など定期的に使用する場合は大変お得です。仲間と楽しく充実した時間を過ごしましょう！

登録申請締切日／令和6年1月31日（水）

利用期間／令和6年4月1日（月）～令和7年3月31日（月）

※希望日時が重複する場合は、代表者による打合せ会で調整します。

案内

パレア文化課 Tel：0770-62-2508

若狭町の歴史遺産

花園大学博物館企画展「若狭の古墳」

京都の花園大学博物館で、昨年9月末から12月末まで、「若狭の古墳—よみがえる若狭の王者たち—」が開催されました。そもそもの縁は、若狭町において、花園大学の考古学の高橋克壽先生が、昭和62年の向山古墳の調査以来、40年近く指導や調査に関わってきただった関係からの共同主催となりました。

目玉としては、十善の森古墳の金銅製の冠帽や馬具、丸山塚古墳の鏡や大刀飾、向山古墳の金製耳飾や鉄製の甲（よろい）など、国立博物館にでも展示すべき日本有数の出土品が並べられたのです。今回のような大々の出張展示は初めてのことで、900人もの入館者がありました。

不思議なことですが、古墳の集中する脇袋の法順寺先々代のご住職、堂谷憲勇先生は花園大学教授として中国美術を教えていました。



「シン・上中診療所」を目指して

地域医療を取り巻く現状

地域医療とは、病院等医療機関での治療やケアといった枠組みにとらわれずに、地域住民が安心して暮らすことができるよう、地域全体で住民の健康を支える医療体制のことです。

しかし、現状は、少子高齢化などにより、その地域医療を担う医師や看護師等のマンパワーが不足したり、医師が都市部に集中する偏在が起きるなど、地域医療を維持していくことが困難な状況です。

若狭町の医療

若狭町においても例外ではなく、医師の高齢化や福井・坂井地域への偏在、公的医療機関の数や医療職人材の不足が大きな課題となっています。

	医師偏在指標※ (順位)	多数・少数地域
全国	239.8 (—)	少数地域
福井県	233.7 (24/47)	多数地域
福井・坂井	289.9 (34/335)	多数地域
奥越	138.6 (287/335)	少数地域
丹南	136.2 (295/335)	少数地域
嶺南	161.1 (224/335)	少数地域



※医師偏在指標

人口10万人に対する医師の数に、地域ごとの医療需要（人口構成による受療率の違い）や患者の流入・流出、医師の供給体制（医師の性・年齢階級別の平均労働時間）を考慮した医師偏在の度合いを示す値

シンポジウムの開催

このような中、閉院寸前の赤字病院を地域に欠かせない病院へと復活させ、テレビ等でも取り上げられている志摩市民病院（三重県）の江角院長を団長とする「地方創生医師団」を招き、11月11日・12日の2日間、「どうする 地域医療！～地方創生医師団と語ろう～」と題したシンポジウムを上中診療所主催で開催しました。

シンポジウム開催の主な目的

- ①地域医療に対する認識の向上
- ②町立（上中）診療所の公的医療機関としての役割の明確化
- ③住民・地域の実情に応じた地域医療の維持・推進と医療サービスの確保



町外から地方創生医師団や医師を目指す大学生、近隣医療機関の医師・関係者等が、町内からは医療・介護従事者をはじめ、役場職員や、地域づくり協議会関係者、町議会議員等の延べ約200名が参加し、率直な意見を出し合いました。

参加者の声

上中診療所は要る？要らない？

診療所運営は、**公共性と経済性のバランスが必要**だが、経済性を優先すると地域ニーズの実現が困難になる。

地域医療は地域で守っていく必要がある。

上中診療所はなくてはならない。
在宅で最期を迎えることが住民の希望。

上中診療所に求めること

上中診療所の運営について、もっと**効果的にPR**すべき。

勤労者でも受診しやすい診療時間を設定して！

上中診療所には特色がない。
何か**+a**が必要。

医師が働きたいと思える環境の整備

「何とかこの町を守っていきたい！」と住民や行政が頑張っていると手伝いたくなる。

地方の不便さを超える「**地域の良さ**」があればよい。
SNSを活用し、地域住民(若者・研修医など)が輝いている姿を発信するとよい。

シンポジウムを通して

- ・地域住民に寄り添った診療活動を通して、“口コミ”で診療所をPRしてもらう。
- ・家族の介護力低下に伴う社会的入院の増加に備え、持続可能な医療や介護を目指す。
- ・住み慣れた地域で最期を迎えたい患者や患者家族の思いを大切にする。(看取りも大切な医療の一つ)
- ・地域医療を通して、地域住民に寄り添い、共に歩む運営をする。
- ・嶺南地域の他の医療機関との連携や機能分化を進める。
- ・地域医療の実践者になってもらえる研修医を積極的に受け入れる。(人材確保)
- ・さまざまな産業や住民との交流機会を設け、地域ぐるみで研修医を受け入れる。



地方創生医師団団長・志摩市民病院 院長

江角 悠太 氏

ここがスタートです。今回のシンポジウムを通して、住民が上中診療所に期待を寄せているということがよく分かりました。

上中診療所の重要性に気づいてもらい、応援・維持に繋がるキッカケになって欲しいと思います。



上中診療所 所長

岡本 敏幸 氏

日々診療業務に追われる中、地域住民の地域の医療に対する想いや要望を汲み取ることは難しいことですが、今回こうして地域住民の生の声を聞くことができ、その大切さを痛感しました。

これから、上中診療所らしい取り組みを、地域住民の皆さまとともに模索・実践していき、住民の皆さまにとって利用しやすい診療所となるよう努めていきます。